

II 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き（表3、表4）

1. 鉄鋼業

7年の県内鉄鋼業の生産指数は76.5で、対前年比△0.2%減少した。

四半期別に推移をみると、1～3月期は85.7（対前期比10.3%増）、4～6月期は76.7（同10.5%減）、7～9月期は73.7（同4.0%減）、10～12月期は70.0（同5.0%減）と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は81.4で、対前年比△1.7%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は86.6（対前期比1.8%減）、4～6月期は83.6（同3.5%減）、7～9月期は75.4%（同9.8%減）、10～12月期は80.7（同7.1%増）と3期連続減少したが、再び増加した。

2. 非鉄金属工業

7年の県内非鉄金属工業の生産指数は112.9で、対前年比6.5%増加した。これは軽合金鋳物、電力ケーブル等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は115.7（対前期比6.5%増）、4～6月期は111.5（同3.6%減）、7～9月期は116.6（同4.6%増）、10～12月期は108.3（同7.2%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は192.1で、対前年比20.0%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は188.0（対前期比48.9%増）、4～6月期は180.6（同3.9%減）、7～9月期は186.6（同3.3%増）、10～12月期は211.8（同13.5%増）と2期連続増加した。

3. 金属製品工業

7年の県内金属製品工業の生産指数は101.6で、対前年比△5.1%減少した。これは、水門、ばね等が減少したためである。

四半期別に推移をみると、1～3月期は134.7（対前期比55.7%増）、4～6月期は87.0（同35.4%減）、7～9月期は98.3（同13.1%増）、10～12月期は84.2（同14.4%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は136.1で、対前年比△2.9%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は146.2（対前期比5.4%減）、4～6月期は140.6（同3.8%減）、7～9月期は129.2（同8.1%減）、10～12月期は126.8（同1.9%減）とそれぞれ減少した。

4. 機械工業

7年の県内機械工業の生産指数は、82.2で対前年比3.5%増加した。また、在庫指数は、83.7で対前年比△8.2%減少した。

4-1 一般機械工業

7年の県内一般機械工業の生産指数は87.6で、対前年比7.9%増加した。これは、数値制御専用機、たばこ自動販売機等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は87.2（対前期比0.9%増）、4～6月期は88.6（同1.6%増）、7～9月期は81.3（同8.2%減）、10～12月期は93.7（同15.3%増）と一時期減少したが、再び増加した。

一方、在庫指数の年平均は81.4で、対前年比1.2%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は76.2（対前期比10.8%増）、4～6月期103.9（同36.3%増）と2期連続増加し、7～9月期は85.4（同17.9%減）、10～12月期は66.7（同21.8%減）と2期連続減少した。

4-2 電気機械工業

7年の県内電気機械工業の生産指数は95.5で、対前年比18.0%増加した。これは、印刷装置等が増加したためである。

四半期別に推移をみると、1～3月期は95.1（対前期比14.6%増）、4～6月期は97.3（同2.4%増）、7～9月期は92.8（同4.6%減）、10～12月期は96.4（同3.8%増）と一時期減少したが、再び増加した。

一方、在庫指数の年平均は96.4で、対前年比17.8%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は87.5（対前期比13.7%増）、4～6月期は99.5（同13.8%増）、7～9月期は101.2（同1.6%増）、10～12月期は99.0

(同2.1%減)と3期連続増加したが、再び減少した。

4-3 輸送機械工業

7年の県内輸送機械工業の生産指数は71.7で、対前年比△7.8%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は80.8(対前期比4.6%増)、4～6月期は73.2(同9.4%減)、7～9月期は71.1(同3.0%減)、10～12月期は62.3(同12.3%減)と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は76.1で、対前年比△28.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は110.4(対前年比44.0%増)、4～6月期は83.5(同24.3%減)、7～9月期は64.7(同22.6%減)、10～12月期は59.3(同8.3%減)と3期連続減少した。

5. 窯業・土石製品工業

7年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は75.6で、対前年比△1.9%減少した。これは、みがき板ガラス等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は78.0(対前期比4.0%増)、4～6月期は75.0(同3.8%減)、7～9月期は76.4(同1.8%増)、10～12月期は73.8(同3.4%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は70.7で、対前年比△10.2%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は71.9(対前年比2.3%減)、4～6月期は74.3(同3.3%増)、7～9月期は71.8(同3.3%減)、10～12月期は64.6(同10.1%減)と2期連続減少した。

6. 化学工業

7年の県内化学工業の生産指数は101.6で、対前年比10.1%増加した。これは、ポリエチレンテレフタレート等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は102.9(対前期比6.8%増)、4～6月期は104.9(同1.9%増)と2期連続増加し、7～9月期は100.1(同4.6%減)、10～12月期は98.9(同1.2%減)と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は118.9で、対前年比9.8%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は105.2(対前期比0.2%増)、4～6月期は111.8(同6.3%増)、7～9月期は128.3(同14.8%増)、10～12月期は131.5(同2.5%増)とそれぞれ増加した。

7. 石油・石炭製品工業

7年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は116.4で、対前年比0.1%増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は116.9(対前期比10.0%増)、4～6月期は129.3(同10.6%増)、7～9月期は106.1(同18.0%減)、10～12月期は116.3(同9.7%増)と一時期減少したが、再び増加した。

一方、在庫指数の年平均は103.0で、対前年比△2.7%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は111.8(対前期比11.8%増)、4～6月期は131.0(同17.2%増)と2期連続増加し、7～9月期は92.7(同29.2%減)、10～12月期は88.2(同4.8%減)と2期連続減少した。

8. プラスチック製品工業

7年の県内プラスチック製品工業の生産指数は103.0で、対前年比△3.5%減少した。これは浴槽等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は101.6(対前期比2.5%減)、4～6月期は103.3(同1.7%増)、7～9月期は103.1(同0.3%減)、10～12月期は103.6(同0.5%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は128.3で、対前年比△1.1%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は127.3(対前期比8.9%減)、4～6月期は129.8(同2.0%増)、7～9月期は126.0(同2.9%減)、10～12月期は130.3(同3.5%増)と増減を繰り返した。

9. パルプ・紙・紙加工品工業

7年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は102.3で、対前年比4.1%増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は100.4（対前期比1.2%減）、4～6月期は99.7（同0.7%減）、7～9月期は105.4（同5.7%増）、10～12月期は103.5（同1.8%減）と一時期増加したが、再び減少した。

一方、在庫指数の年平均は99.4で、対前年比△3.7%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は100.9（対前期比5.6%減）、4～6月期は95.8（同5.0%減）と2期連続減少し、7～9月期は100.0（同4.3%増）、10～12月期は101.3（同1.4%増）と2期連続増加した。

10. 繊維工業

7年の県内繊維工業の生産指数は81.2で、対前年比△10.1%減少した。これは、下着・補正着ニット製等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は84.6（対前期比1.6%増）、4～6月期は80.7（同4.7%減）、7～9月期は79.9（同0.9%減）、10～12月期は79.9（同増減なし）と2期連続減少したあと、横ばいとなった

一方、在庫指数の年平均は119.0で、対前年比6.3%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は115.0（対前期比6.3%増）、4～6月期は120.9（同5.1%増）、7～9月期は126.1（同4.3%増）、10～12月期は114.8（同9.0%減）と3期連続増加したが、再び減少した。

11. 食料品工業

7年の県内食料品工業の生産指数は94.8で、対前年比1.3%増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は89.7（対前期比2.9%減）、4～6月期は97.4（同8.6%増）、7～9月期は96.3（1.2%減）、10～12月期は95.8（同0.4%減）と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は101.4で、対前年比△4.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は91.3（対前期比9.2%減）、4～6月期は98.0（同7.3%増）、7～9月期は108.2（同10.5%増）、10月～12月期は109.1（同0.8%増）3期連続増加した。

12. その他工業

7年の県内その他工業の生産指数は99.2で、対前年比△0.3%減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業4.8%、家具工業△8.2%、木材・木製品工業△2.4%、その他製品工業△6.2%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期は98.2（対前期比1.5%増）、4～6月期は96.5（同1.8%減）、7～9月期は101.1（同4.8%増）、10～12月期は101.1（同増減なし）と増減を繰り返したあと、横ばいとなった。

一方、在庫指数の年平均は82.8で、対前年比△4.1%減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業△2.7%、家具工業△75.5%、木材・木製品工業△4.2%であった。これを四半期別にみると、1～3月期は83.7（対前期比2.2%減）、4～6月期は82.5（同1.4%減）、7～9月期は80.9（同2.0%減）、10～12月期は84.4（同4.3%増）と3期連続減少したが、再び増加した。

13. 鉱業

7年の県内鉱業の生産指数は105.3で、対前年比4.4%増加した。これは、かんらん岩等が増加したためである。

四半期別に推移をみると、1～3月期は112.6（対前期比14.1%増）、4～6月期は96.8（同14.1%減）、7～9月期は110.6（同14.3%増）、10～12月期は104.3（同5.7%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は127.4で、対前年比1.4%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は120.1（対前期比4.4%増）、4～6月期は123.6（同3.0%増）、7～9月期は128.8（同4.2%増）、10～12月期は136.9（同6.3%増）とそれぞれ増加した。

14. 公益事業（参考）

7年の県内公益事業の生産指数は101.5で、対前年比△7.1%減少した。これは、ガスが減少したためである。四半期別に移をみると、1～3月期は99.0（対前期比11.9%減）、4～6月期は126.7（同28.0%増）、7～9月期は89.1（同29.7%減）、10～12月期は96.4（同8.1%増）と増減を繰り返した。

